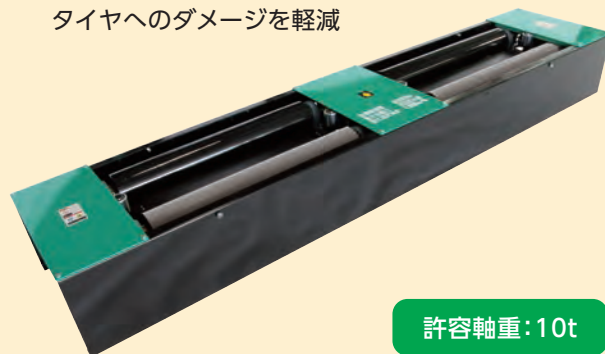


## 新商品のご紹介

### サイレントローラーを採用！ フラットBSテスター BS-2026S

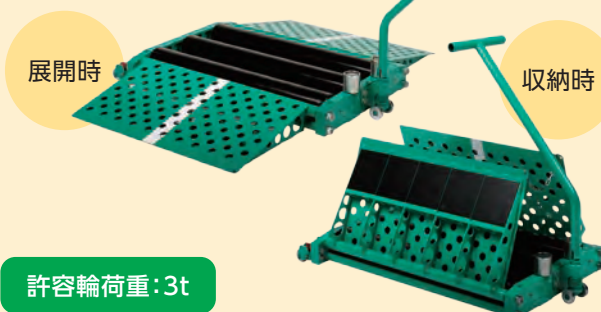
- 静音加工方法として溶射技術を採用
- 従来品と比べ静音性と耐摩耗性が向上し、タイヤへのダメージを軽減



許容軸重:10t

### 測定時の安全作業をサポート！ 大型車用簡易フリーローラー AFR-S3000C

- 設置不要、地上高109mm低床設計で乗り入れも安全・スムーズ
- ローラーで移動もラクラク



許容輪荷重:3t

### チャンバーダイヤフラム位置出しツール チャンバーセッター ACS-1

- ブレーキチャンバーの組み付け時の位置出しを省力・効率化
- ダイヤフラム交換の際、1個当たり約8分の工数削減！



重量:1.8kg



## TOPICS 沼津 新工場稼働開始のお知らせ

このたび、かねてより工事を進めておりました新工場が完成し、生産体制の強化と業務効率化を目的として、2026年1月7日より稼働を開始いたします。  
新工場の稼働により、ANZENものづくりの技術力をさらに高め、信頼性と安心感を基盤とした製品づくりを続けてまいります。

<所在地> 〒410-0001 静岡県沼津市足高294-99 沼津鉄工団地



バックナンバーは「WEB CHARGE」に掲載しております。お時間のある時にぜひご覧ください！

**ANZEN** 〒108-0023 東京都港区芝浦4-16-25  
安全自動車株式会社 TEL(03)5441-3412 FAX(03)5441-8848  
ANZENホームページ <https://www.anzen.co.jp>

札幌支店 札幌市中央区南19条西8-2-21 TEL(011)511-6241(代)  
釧路営業所 札幌市中央区南19条西8-2-21 TEL(0154)24-0161(代)  
仙台支店 仙台市宮城野区日の出町2-2-8 TEL(019)637-8711(代)  
盛岡営業所 仙台市宮城野区日の出町2-2-8 TEL(019)637-8711(代)  
関東支店 戸田市氷川町2-8-31 TEL(029)355-2725  
水戸営業所 戸田市氷川町2-8-31 TEL(025)382-5815  
新潟営業所 東京都港区芝浦4-16-25 TEL(043)284-2600(代)  
東京支店 東京都港区芝浦4-16-25 TEL(043)284-2600(代)  
千葉営業所 名古屋市中区金山5-12-3 TEL(076)248-0499(代)  
名古屋支店 名古屋市中区金山5-12-3 TEL(076)248-0499(代)  
金沢営業所 大阪市西淀川区御幣島2-1-14 TEL(078)265-0375(代)  
大阪支店 大阪市西淀川区御幣島2-1-14 TEL(082)832-3630(代)  
神戸営業所 福岡市東区多の津3-7-7 TEL(099)213-0762(代)  
広島営業所 福岡市東区多の津3-7-7 TEL(099)213-0762(代)  
福岡支店 福岡市東区多の津3-7-7 TEL(099)213-0762(代)  
南九州営業所 松本市大村383-11 TEL(0263)45-2181(代)

保守点検のおすすめ ANZEN製品を長くご活用いただくため、保守点検サービス(有料)のご利用をおすすめします。お近くの支店または営業所までお問い合わせください。  
ANZEN カスタマーサービス 0120-01-6361 当社の製品およびサービス、その他に関するお問い合わせは左記へ。(受付時間:月~金 AM9:00~PM5:00)

ANZEN で 検索 <https://www.anzen.co.jp>

- 発行所／安全自動車株式会社 営業企画部 販促企画グループ 東京都港区芝浦4-16-25
- ANZEN NEWS CHARGE 110号 (2026年1月発行)
- ※外観・仕様は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

最新の業界情報をお届け! ▶▶▶  
ANZENメルマガ会員募集中  
詳しくは ANZEN ニュース で 検索



UD FONT

自動車整備の最新がわかる ANZEN NEWS



# CHARGE

## TOP MESSAGE

### サービス・技術・情報発信、そして人間力ー 信用・信頼を繋ぐ2026

新年あけましておめでとうございます。

2025年は、私どもにとって多くの新たな挑戦と成果に恵まれた一年となりました。6月に開催された「オートサービスショー2025」では、弊社独自の製品を多数発表し、作業の省力化・効率化・安全対策といったお客様の課題解決に貢献できるというお声を多数頂戴いたしました。

近年、私どもは「『信用・信頼のANZENタスキ』を次世代へつないでいこう!」を活動テーマに掲げ、長期にわたり高い対応品質を維持し、お客様にとって「最初に相談したい存在」であり続けることを目指してまいりました。

その一環として実施している「サービス技能コンクール」は、本年2026年に開催を予定しております。社内の連携強化に加え、お客様対応品質のさらなる向上を図る取り組みとして、引き続き「サービス力の強化」に力を注いでまいります。

また、情報発信の強化にも努めます。昨年はオートサービスショーをはじめとする各種展示会において、多くのお客様にご来場いただき、貴重なご意見とご評価を賜りました。この好機を全国へと広げ、製品を「見て・触れて」いただける機会をさらに増やしてまいります。

自動車メーカー様向けの特販事業においては、お客様のご支援のもと、新たな技術開発に挑戦する機会をいただき、高い評価を頂戴いたしました。

加えて、生産能力の強化を目的に建設を進めてまいりました沼津の新工場が完成し、本年1月より稼働を開始いたします。これを機に、「ANZENものづくり」の技術力を一層高め、お客様のご期待を超える製品開発に努めてまいります。

今後も、経営理念である「交通報國」のもと、社是「至誠」と「利他」の精神を大切にしながら、社員一人ひとりの「人間力」を高め、より良い企業風土の醸成を通じて、お客様からの信用・信頼をより一層強固なものとしてまいります。

本年も変わらぬご指導・ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝とご発展を心よりお祈り申し上げます。



代表取締役社長

中谷 宗平

Happy New Year!!



## 新商品のご紹介 P.12

フラットBSテスター  
大型車用簡易フリーローラー  
チャンバーセッター

## TOPICS P.12

沼津 新工場稼働開始のお知らせ

USER REPORT 小型 P.02  
トヨタカローラ愛知株式会社 蒲郡店

USER REPORT 大型 P.06  
カリッソーオートテクノ株式会社

特許庁長官奨励賞 受賞技術採用  
乗用車・中古車・大型バス事業者 におすすめ

らくらく3D温水リンサー  
ポイント徹底解剖!

車内シートやカーペットなどの洗浄作業を大幅に効率化! P.10



P.10

**ANZEN**  
安全自動車株式会社





## トヨタカローラ愛知株式会社 蒲郡店

### 作業効率・安全性・働きやすさを追求した サービス工場で整備品質向上を強力に推進



#### 店舗情報

トヨタカローラ愛知株式会社 蒲郡店  
愛知県蒲郡市竹谷町松本13番地4  
TEL：0533-69-3146  
従業員：30名（サービスエンジニア9名）  
敷地面積：3,922.11平方メートル



#### 今回お話を伺った方



副店長  
石田 昌敏 様

トヨタ自動車株式会社を筆頭に自動車産業の中心地と位置付けられる愛知県で新車販売店28店舗、中古車販売店10店舗を展開するトヨタカローラ愛知株式会社は中京経済圏の交通社会の中枢を担う販売会社として重要な役割を担い続けてきました。

2025年9月、同社の蒲郡店が全面リニューアルを行いオープン。従来の敷地を拡張し、さらにスケールアップを図りました。これまで以上に地域交通社会に密着した店舗を目指し、営業をスタートさせています。

新店舗はガラスウォールを採用したモダンなデザインで開放感を高めるとともに、ロードサイドからの視認性を高めることで地域のランドマークとしての存在感をいっそう高めました。ショールームには、木目を基調とした内装と大きな窓から差し込む自然光を採り入れ、明るく居心地の良い快適空間を実現。また、店内中央には広めのキッズスペースを設置して、次世代のユーザーである子どもたちの遊び空間を作り上げました。なお、インテリアに用いた木材はウッドマイレージに配慮し、周辺地域の木材を使用、カーボンニュートラルに貢献しています。

全面刷新したサービス工場は安全面と快適性、そして美観と作業効率向上がコンセプトです。入庫の拡大ときめ細かいサービス需要の要請に対応しました。“アルネオリフト”についてはスイングアームを1基、スイングアームとプレートとの2ウェイタイプを4基、そして中型車整備も見据えて“フォーマルリフト”を1基採用

し、使用するリフトを作業別に明確にしました。サービスエンジニア出身の石田副店長は「リフトのバリエーションが増えて作業がしやすくなりました。重整備をスイングアーム式で行うようになり、生産性は向上。また、フォーマルリフトについてはアームをかける手間がなく、作業性も高まりました。プレート自体が大きいので安全です」と多様なリフトの採用の理由について語っていただきました。

また、安全面については“リフト挟まれ防止センサー”を全国初、全7ストール（検査ライン含む）に渡って納入しました。この“リフト挟まれ防止センサー”はリフト操作者の死角（検知エリア）にいる人や物などをセンサーが検知するとリフトは動作を停止し、作業事故を未然に防ぐ機能です。「サービスエンジニアの安全性はもちろんのこと、心理的な面で働きやすさを感じています」（石田副店長）。

この他、シートシャッターの導入による空調効果の向上、キャビネットの積極的な導入による5Sの推進など、サービスエンジニアの働きやすさを高めることで、スタッフの安全と安心に寄与する最新鋭のサービス工場を具現化しました。

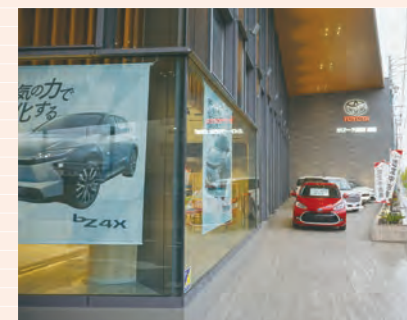
## 事務所／その他



▲広大なキャノピーで開放感のある全天候型のお客様駐車場



▲ラグジュアリーなエン  
トランス



▲店舗前のウッドデッキに車両  
を展示



▲木の温もりを感じる温かみのあるくつろぎ空間を実現。車両展示のない広々とした  
ショールーム



▲ショールーム中央に設置したアスレチックパークの  
キッズスペース



▲プレミアム感を演出する待合室



▲ウッドマイレージに配  
慮した応接テーブル



▲乗り継いできたクルマと新たに購入したクルマの2台  
でセレモニーが行える納車ルーム

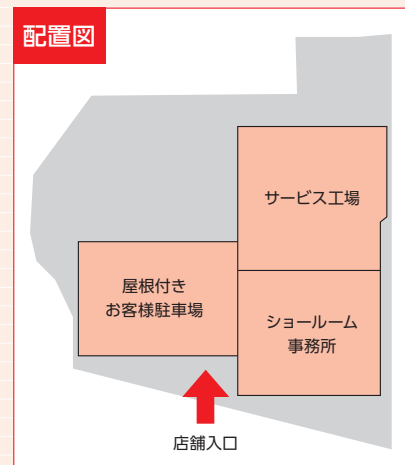


▲サービス工場入口（左側）と納車ルーム



図面でわかる！  
ここがポイント！

作業内容に応じて使い分けるリフトレイアウトと  
工場内に設備した洗車場で作業負担を軽減



### 営業担当者のココがポイント！

蒲郡店様の新築工事を弊社にご依頼いただき、大変嬉しく思っております。トヨタカローラ愛知様は、以前より整備機器のご相談やご依頼を各種お受けしており、車検ラインシステム、整備リフト、レバーレスタイヤチェンジャー、空調設備等、最新・最適な機器を多くの店舗様でご活用いただいております。今回は、全てのリフトに挟まれ防止センサーを設置した安全面の対応、キャビネットの配置で整備環境改善、空調も完備され働くサービスエンジニアのことを重視した工場として完成したと感じております。今後もご要望の対応と、弊社からの提案も含めてより良い整備工場づくりにご協力させていただきます。



左：副店長 石田様 右：名古屋支店 矢口



◀“アルネオリフト”はスイングアームと2ウェイ式を納入。作業スペースが広く使えることで整備品質をアップ



◀空調の機能性をさらに高めるため工場入口に自動シートシャッターを採用



◀作業効率を高める“フォーマルリフト”。リフト未使用時、ジャッキキングビームに足を落とさないように特注のプレートを取り付け(画像右)。



▲サイドスリップ・ブレーキ・速度計複合の“ハイブリッドテスター”に“ファンタスリフト”を組み合わせた検査ライン。また、検査システム“ラインマスター”を導入することで車検効率化を推進



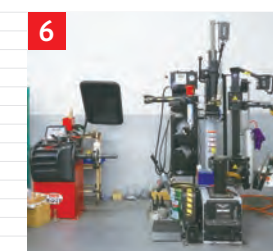
▲多様化する光源に対応する画像処理方式手動ヘッドライトテスター“HLI-223”



◀“リフト挟まれ防止センサー”を全ストールに導入。天井のセンサー(画像上)で死角の人や物を検出すると制御ユニットの表示ランプ(画像下)が点灯し、リフト下降を停止



▲同社初のドライブスルー型屋内洗車ストール。北風が吹きこむ立地を考慮し、洗車の品質とスタッフの働きやすさ、安全性を向上



◀大径ホイール化に対応するタイヤチェンジャー“CL-121A”を納入。レバーレスで省スペース



◀洗車場と工場内は洗車の水が入り込まないよう自動シートシャッターで間仕切り



◀工具や整備機器の収納を増やし、整理整頓を機能的に行うためのキャビネットを積極的に採用。壁一体型にすることで美観をさらに向上



◀“回転工具台車”を採用し工具の収納を徹底





## カリツーオートテクノ株式会社

### 拡大する整備需要に応える、最新型整備工場を新設 検査場を2ラインとし、効率化とコンプライアンスを強化



#### 店舗情報

カリツーオートテクノ株式会社  
愛知県安城市和泉町大海古3番地17  
TEL：0566-92-5551  
従業員：48名  
(メカニック21名/板金・  
塗装エンジニア5名)  
敷地面積：  
7,895.8平方メートル



#### 今回お話を伺った方



専務取締役  
安井 義和 様



事業推進部 部長  
生頼 英樹 様

カリツーオートテクノ株式会社は、全国にネットワークを張りめぐらせる総合物流企業、カリツー株式会社のグループ企業として、車両の保守管理を担う整備事業者です。1944年の設立から80余年、培ってきた高い技術力と品質管理体制を築き、カリツーグループの傘下に入ったのが1994年のこと。それ以降、高まる物流需要から、入庫台数は拡大を続けるとともに、近年の物流問題を受け、一層の管理態勢強化を図るべく、2024年12月、新設の整備事業場をオープンしました。また、敷地内に板金・塗装工場も2025年8月に新設し、メンテナンスサービスの拡充を図っています。これに伴い、刈谷市にあった本社機能を安城市の新工場に移転、グループ会社との連携を高めています。

入庫台数約2万台、このうち車検の入庫は約2,700台(2024年実績)という同社は、物流の2024年問題以降、ドライバーが実施してきた軽整備も入庫するなど、入庫台数が著しく増加しています。こうした状況を背景に、新設したサービス工場は約3,500㎡の敷地に全10ストールを設備。旧工場から2ストール増設しました。このうち、2ストールを検査ラインが占めています。「新工場のコンセプトとして拠点の集約化があり、ひとつの検査ラインではとても対応できないと判断し、2ラインの検査場を設備しました」と安井専務取締役。その検査ラインも大型車に対応するラインと軽自動

車の入庫にも対応するラインですみ分けするなど、作業効率を高める工夫が凝らされています。また、今回は車検システムの“ラインマスター”を初導入、「メカニックが操作に慣れてきており、車検の効率化がかなり進みました。車検台数が多いのでミスの発生も抑止できると思います」(生頼部長)と、課題となっていた車検対応について、効率化とコンプライアンス向上を進めました。

また点検整備8ストールの内、6ストールに“ツインパワーリフト”を導入しました。生頼部長は「物流の2024年問題でオイル交換の依頼が増えました。オイル交換ひとつとってもリフトアップで作業が行える効率性とメカニックの作業負担は大きく軽減できており、効果は絶大です」と語ります。

一方、車体整備については「大型車は、特に塗装ができる事業者が少なく、お客様が苦慮されていました。将来的な事業拡大を見越し、板金・塗装工場を新設しました」と安井専務取締役。塗装ブースは大型用2基と小型用1基を設備、またフレーム修正機を導入するなど、近隣でも類のない規模の本格BP工場が誕生しました。

「今後ますますシビアになることが予想される物流の要請に、技術力と信頼で応えていくためのサプライチェーンを構築してまいります」と将来の企業像を語る安井専務取締役。同社は確かな技術力に加え、設備の面でもステージアップしています。

#### 営業担当者のココがポイント！

新工場は、整備8・車検2の計10ストール体制、クイック整備に柔軟に対応できるよう2分割式フロアリフトも導入しております。車検ラインは従来の1ラインから入庫車両増のため2ライン配備とし、ラインマスターを導入することで検査員の作業負担軽減、効率向上につながります。また、既存整備棟を改修し、これまでの板金作業を1拠点に集約しました。働く環境にも注力しており、全館空調や休憩設備・食堂なども従業員ファーストの整備工場となっております。今後もアフターサービス含め、サポートしてまいります。

販売会社：有限会社ナガサキ / 株式会社スヤマ



左：事業推進部 部長 生頼様  
中央：専務取締役 安井様  
右：名古屋支店 近藤

#### 事務所／その他



▲先進的なデザインの社屋とエントランス



▲全10ストールの整備作業場全景



▲メカニックが使用する食堂。木目の椅子と白いテーブルの美しいコントラスト



▲米国メジャーリーグのロッカールームをイメージした更衣室。女性更衣室も完備



▲アルミバントラックの竹床材とアルミパネルのインテリアを施した商談スペース

#### サービス工場棟



▲拡大する車検需要に応える2ラインの検査場。右の検査ラインはエーミング作業場も兼務



▲LED化が進む大型車のヘッドライトに対応するため“カラー画像処理方式全自動ヘッドライトテスター”(HLI-2023)を導入



▲メカニックの安全確保を最優先に、点検ピット内は手すりや頭上にはクッションを設置



▲“ラインマスター”の導入で膨大な車検台数の検査作業を一気に効率＆コンプライアンス強化



▲“ツインパワーリフト”(2柱式30t)は6ストールに納入。電動スライドアーム仕様を採用、さらにメカニックの作業負担を軽減



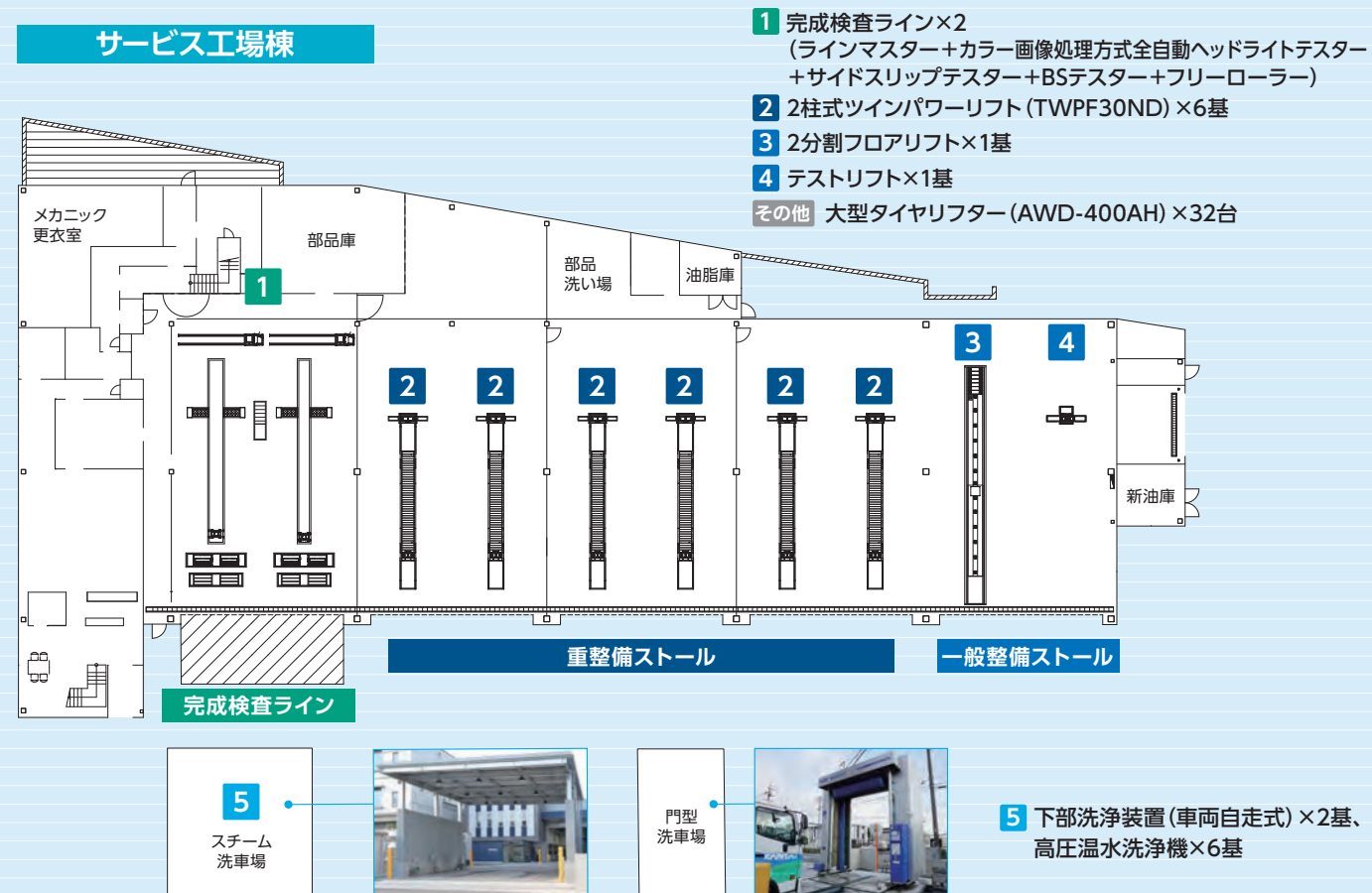
▲物流の2024年問題以降、オイル交換需要が急増。下回りの作業空間が広くオイル交換も楽々作業



図面でわかる！  
ここがポイント！

点検整備作業場6ストールでツインパワーリフトを納入

## サービス工場棟



## 板金・塗装工場棟



## サービス工場棟



▲メカニックが負担の少ない立ち姿勢のまま作業できる仕組みは、入庫数の多い現場での作業効率に不可欠



▲最新の“大型タイヤリフター”をいち早く導入。重量のあるタイヤを立ち姿勢のまま脱着、フロアまで降ろして保管可能。同社では女性のメカニックが在籍しており、タイヤリフターが大活躍



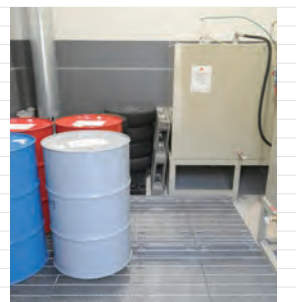
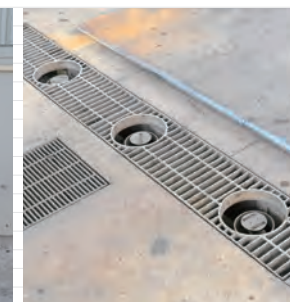
▲小型の整備と併用できる“フロアリフト”は2分割式を導入



▲クイック整備用に“テストリフト”を1基納入。フローティング式スライドアームで幅広い車種に対応



▲6基の“高圧温水洗浄機”を配置したスチーム洗車場。“車両自走式下部洗浄装置”も併設



▲油脂庫から集中給油システムで新油を供給

## 板金・塗装工場棟



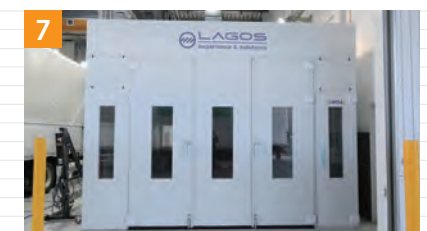
▲板金・塗装工場は2025年8月にオープン。同社では新たに車体整備の需要も取り込む



▲板金ストールとフレーム修正機



▲天井クレーンを2台配備する本格BP工場



▲小型塗装ブース。この他に大型用の塗装ブースは2基設備



## 特許庁長官奨励賞 受賞技術採用

乗用車・中古車・大型バス事業者 におすすめ

# らくらく3D温水リンサー ポイント徹底解剖!

車内シートやカーペットなどの洗浄作業を大幅に効率化!



## リンサーとは

水洗いが難しい素材や場所を、外部を濡らすことなくピンポイントで水洗いできる洗浄機器。温水を使用して汚れを浮かせ、同時に汚水を吸引回収するシステムによりカーペットや車のシートなどの清掃に最適

## らくらく3D温水リンサーの3つのポイント

### ポイント1 | 誰でも使いやすい操作性



従来機では、水を噴射するためにレバーの操作が必要で長時間作業時に手の疲労を招いたり、誤ってレバーを引いてしまい洗浄面以外を濡らすリスクがありました。  
最新機では操作は洗浄面に「当てる・離す」だけで、自動的に温水の噴射と停止が行われ、誰でも簡単に操作可能です

### ポイント2 | 洗浄面以外を濡らさない特殊構造



噴射口が内部にあるため、天井や壁を洗浄しても水が垂れてくることなく、洗浄面以外を濡らしません。  
特殊な負圧式ノズル設計により、ノズル先端が洗浄面に触れた部分からのみ水が噴射され、触れていない部分からは外気を吸引するため、隙間からの水漏れがありません

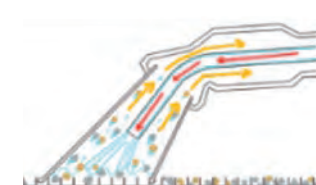
### ポイント3 | 洗浄が行いにくい天井面なども操作しやすい構造



ノズルヘッドはバネ付きで、洗浄面の傾きに応じてスイングします。この特性により、今まで洗浄が難しかった天井や曲面などでも効率的な作業が可能

## 使用方法

- 1 ノズルを洗浄面に当てると自動的に温水が噴射され、汚れを落とします
- 2 汚れとともに温水が吸引回収されます
- 3 乾燥時間を早めたい場合は、ポンプを止めてバキュームのみで残水分を吸引します



## 導入メリット

作業時間の  
大幅短縮

簡易操作で  
誰でも  
使用可能

長時間の  
作業も可能  
負担軽減

連続に近い  
洗浄作業

※複数個のポリタンクを  
準備した場合

## 商品仕様

型式		IS-3DN1
定格電圧	(V)	AC100
定格電力	(W)	1,500
電源コード	(m)	1
洗浄ホース長さ	(m)	3
タンク容量	(ℓ)	10
回収タンク容量	(ℓ)	9
本体寸法	(mm)	W300×D550×H500
本体重量	(kg)	21

動画公開中!



革新的な設計と使いやすさにより、  
どなたでも洗浄作業の効率を大幅に向上いたします。  
多くの座席を定期的に清掃する必要がある業種にとっては、  
作業時間の短縮と人材の有効活用に貢献。  
あらゆる現場での活用を可能にし、清掃作業の質を高めます

